

## ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）

(実施期間：平成 27～32 年度)

実施機関：岡山大学（総括責任者：榎野 博史）

## 取組の概要

理系分野を中心にポストアップによる女性研究者の上位職登用およびウーマン・テニユア・トラック（WTT）制度等により女性研究者の採用を促進するとともに、教員評価制度の見直し等により優秀な女性研究者の活躍を推進する。このための基盤として、各種研修に加え、共同研究プロジェクトの立ち上げ・展開、国内・国際シンポジウムの開催を通じてリーダーシップ・マネジメント力を涵養し、チームリーダーとして研究成果を国際的に発信し、上位職でもその実力を発揮出来る総合研究力のある女性研究者を着実に輩出する体制を実現する。これに加えて、研究支援・カウンセリング・メンタリング、さらには継続的なキャリア形成支援などのサポートを強化する。

## (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	b	s	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

## (2) 評価コメント

既存の「ウーマン・テニユア・トラック（WTT）制度」と「女性教員特別昇任（ポストアップ）制度」を組み合わせ、女性研究者の上位職登用を加速させていることは評価できる。また、若手女性教員の研究力強化やグローバルなマネジメント力、リーダーシップを育むための「女性教員支援助成金制度」、女性復職者へリスタートアップ研究費を助成する「復職支援助成金制度」等、工夫を凝らした機関独自の特色ある取組を実施していることは評価できる。今後は、女性研究者在職比率が特に低い理学・工学・農学系の女性研究者の増加を含め、女性研究者採用比率及び在職比率に係る目標達成に向け、取組の成果をより一層上げることが期待される。

- ・ **目標達成度**：「女性教員特別昇任（ポストアップ）制度」の新設等により上位職女性比率の目標を達成したことは評価できる。しかしながら、女性研究者採用比率及び在職比率に係る目標は未達であり、実施期間終了時の最終目標達成に向け取組の成果をより一層挙げることを期待する。
- ・ **取組**：「ウーマン・テニユア・トラック（WTT）制度」、「女性教員特別昇任（ポストアップ）制度」、「女性教員支援助成金制度」、「復職支援助成金制度」、「業績評価・人事評価の際にライフイベントを考慮するシステム」等、女性研究者の活躍促進に係る機関独自の工夫を施した特徴ある取組は高く評価できる。
- ・ **取組の成果**：機関独自に様々な特徴ある制度を構築、運用して、女性研究者の採用及び昇任を推進した。特に、機関全体として女性研究者の上位職への登用が確実に進んだことは評価できる。今後は、理学・工学・農学系の女性研究者の増加を含め、女性研究者採用比率及び在職

比率の向上を図ることを期待する。

- **実施体制**：理事・副学長を本部長とする学長直属の「ダイバーシティ推進本部」の運営組織の一つであり、本事業運営母体である「男女共同参画室」を二つのキャンパスに設置していたが、両キャンパスの関係教職員の相互連携や情報共有をさらに推進するため、「ダイバーシティ推進本部オフィス」を設置するとともに、テレビ会議システムを導入し、機関全体として女性研究者の活躍促進を図る体制を強化したことは評価できる。
- **今後の進め方**：実施期間終了までの資金計画がしっかり立てられており、取組の継続および発展が期待できる。また、実施期間終了後は、産業界等学外組織と連携し、優れた女性研究者人材の育成を図る「好循環システム」の構築を目指しており、新たな女性研究者養成システムとして今後を期待する。理学・工学・農学系の女性研究者については、上位職登用に係る目標値の設定やインセンティブ付与などが検討されており、採用比率及び在職比率の今後の向上が期待できる。